

令和2年11月20日

看護学科3年生とご家族の皆様へ

東京家政大学健康科学部看護学科

学部長 今留 忍

学科長 鈴木 幹子

臨地実習について(ご連絡)

学生ならびにご家族の皆様方におかれましては、ここ数日の新型コロナウイルス感染症の状況、感染者数の増加をニュースでご覧になり、大変不安な思いをなされているものと推察いたします。

さて、後期領域別実習は、実習施設側の状況により中止あるいは実習期間や時間短縮等を余儀なくされている状況です。臨地実習は4年間で23単位の修得が法律で定められており、本学科では、3年次8か月にわたり実施される「領域別実習」が修得単位の過半数を占めています。

教育の質を担保するために、オンライン実習、学内実習等の代替措置プログラムを展開しておりますが、病院や施設での実習に勝るものではありません。臨地実習は、授業で学んだ知識・技術を実際場で実践する学修の場です。実習期間や時間が短縮されても、机上では学ぶことができない患者さんとのコミュニケーションや患者さんに適したケア等、看護実践力が身につきます。こうした臨地での学びを看護学科は重視し、現時点での学科の方針としましては、病院は、安全に実習できる体制を整えたうえで、学生を受け入れておりますので、実習は実施いたします。常に、病院とは密に連絡を取り、実習の継続や中止については、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、検討いたします。

以上